

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）							KPI（成果指標②）							予算額 （千円）	決算額 （千円）	評価	主な取組と成果に対する評価	今後の 方向性
					事業目標	目標 年度	基準値	基準 年度	目標値	実績値	達成率	事業目標	目標 年度	基準値	基準 年度	目標値	実績値	達成率					
Ⅲ「安らくまち」の実現																							
インフラDXの推進による市内建設業の生産性向上および人材育成	1	i- Construction 推進事業	建設現場でICTを活用し、建設業の生産性を向上する「i-Construction」の推進・普及拡大を目指す。 地元建設業等と連携して、新技術等に関する研修の実施など、受発注者の技術力向上を図り、建設業界全体の働き方改革の実現、魅力の向上につなげる。	技術企画課	「i-Construction」に関する体験会、技術研修参加者の満足度の向上（R7年度から統一書式にてアンケートを実施）	R8	—	—	—		—								300	29	概ね順調	「i-Construction」に関する技術向上を目指す体験会や技術研修への参加者数（基準値年度（R3）：330人→R6：538人）は増加しており、概ね順調である。 技術研修に関しては、参加促進及び新たな研修の開催を検討し、参加者数増を図る。 研修のアンケートは、令和7年度研修より書式を統一して実施のため、令和6年度は未実施。	継続
	2	公共工事関係部署における「しごと改革」推進事業	「公共工事関係部署のDX推進プラン」に基づき、市役所の工事関係部署の「しごと改革」を推進する。 また、公共工事に携わる市内建設業者の利便性向上を図り、「新・担い手3法」が目指す建設業の「働き方改革」を推進する。	技術企画課	庁内工事情報共有システムの利用率の増加	R7	25.0%	R4	50.0%		95.0%		190.0%						1,794	1,478	順調	令和6年度は、庁内工事情報共有システム（KitaQ工事ネット）を改修し、公告用データの受け渡しをシステム上で行うことが可能となったため、利用率が大幅に増加した。 令和7年度は、システム上のデータベースの機能を改修予定。併せて、取扱説明会や動画配信も実施し、円滑な利用を促進し、システム利用率のさらなる向上を図っていく。	継続